

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 九州ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
映像音響専門課程	写真学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	放送・映画学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	CG 映像学科	夜・通信	192 時数	160 時数	
	アニメーション学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	声優学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	俳優学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	音響学科	夜・通信	256 時数	160 時数	
	ミュージッククリエイト学科	夜・通信	512 時数	160 時数	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 <https://www.kva.ac.jp/information.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 九州ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表 <https://www.kva.ac.jp/information.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大学院教授(現職)	2018年4月1日就任 2021年8月4日任期満了	経営戦略の立案・助言
非常勤	株式会社取締役(現職)	2017年11月15日就任 2022年4月1日任期満了	ガバナンスの強化
非常勤	株式会社取締役(現職)	2017年11月15日就任 2021年11月15日任期満了	ガバナンスの強化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 九州ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人 Adachi 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラム会議にて学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成する。各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当がシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。</p> <p>作成時期：開始年度前年の11月末 公表時期：開始年度前年の12月中旬</p>	
授業計画書の公表方法	HPにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果は授業担当の評価を学科長が確認を行い最後に学校長が確認した上で単位の認定を行う。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。評価が悪い学生には担任より指導、補講が行われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績は5段階で評価を行う <p>A=優秀 B=良い C=基準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GAP評価制度により客観的に評価を行う。 <p>ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0</p> <p>算出：(全教科の評価ポイント)の合計÷総単位数(履修登録単位の総数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 	

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <p>・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。</p> <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 九州ビジュアルアーツ
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html
収支計算書又は損益計算書	HPにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html
財産目録	HPにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html
事業報告書	HPにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html
監事による監査報告（書）	HPにて公表 https://www.kva.ac.jp/information.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		音響映像 専門課程	写真学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 120 単位	512 単位時間	2112 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2624 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		48人	2人	2人	5人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
(概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換: A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間(卒業時1920時数)を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
(概要) 放課後、担任が作品制作などに対してアドバイスを行う。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	20人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
広告代理店/写真スタジオ/ブライダルフォト 博報堂プロダクツ・パオラストUDIO・代官山スタジオ・スタジオリバー・スタジオネスト			

・スタジオ恵比寿・スタジオ LOFT・ゴーシーズ・株式会社ベスト-アニバーサリー
(就職指導内容) 1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・企業インターンシップによるマッチングを頻繁に実施
(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	3 人	13%
(中途退学の主な理由) 進路に対する方向性変化		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		映像音響 専門課程	放送・映画学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 120 単位	672 単位時間	2304 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2976 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		92人	2人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、担任が作品制作などに対してアドバイスを行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	3人 (10%)	27人 (90%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 番組制作会社/映画制作会社/CM制作会社 株式会社ネットビジョン・株式会社ラップ・株式会社 FUKUMIMI・株式会社ヌーベルメディア 株式会社 FVS・株式会社 U2・放送技術社・横浜スーパーファクトリー・UUUM			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・企業インターンシップによるマッチングを頻繁に実施</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	2 人	4.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習意欲の喪失・精神的理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		映像音響 専門課程	CG 映像学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 120 単位	288 単位時間	2208 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2496 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		49人	0人	2人	5人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、担任が作品制作などに対してアドバイスを行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 映像制作会社 VFX/CG 部門 株式会社コマデン・レスパスビジョン・ナックイメーজテクノロジー			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・企業インターンシップによるマッチングを頻繁に実施。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%
<p>(中途退学の主な理由)</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		映像音響 専門課程	アニメーション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 120 単位	192 単位時間	2464 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2656 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		17人	1人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科のGPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時1920時数）を履修しており、単位94単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、担任が作品制作などに対してアドバイスを行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) アニメーター・アニメ制作進行 寿門堂・シルバーリンク・スタジオエル・C2C・Feel・JCスタッフ・PLA・Vsighn・アジア堂・アゼータピクチャーズ・イマジネット・株式会社オリーブ・株式会社十文字・寿門堂			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・企業インターンシップによるマッチングを頻繁に実施。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.6%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学科に対する関心低下</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		映像音響 専門課程	声優学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 120 単位	128 単位時間	2464 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2592 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	99人	0人	2人	6人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、担任が練習などに対してアドバイスをを行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	1人 (2.4%)	40人 (97.6%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 声優事務所・芸能プロダクション所属 R&A Voice Actors Academy・81 プロデュース・アトミックモンキー・シグマ・セブン ・賢プロダクション・ケックコーポレーション・ゆーりんプロ・プロダクションエース			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・学内オーディションによるマッチングを頻繁に実施。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56 人	4 人	7.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>精神的な理由・進路変更など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		映像音響 専門課程	俳優学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 120 単位	128 単位時間	2464 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2592 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	20人	0人	2人	5人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、担任が練習などに対してアドバイスをを行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) プロ劇団や芸能プロダクション所属スターダス・21 宝映テレビプロダクション・劇団扉座・太田プロ・麗タレントプロモーション・TAIYO MAGIC FILM・アルファセレクション・エイムストーンプロダクション・アスタリスク			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・学内オーディションによるマッチングを頻繁に実施。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	2 人	22.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		映像音響 専門課程	音響学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間 ／120 単位	2048 単位時間	5408 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			7456 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		167人	0人	5人	12人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う <p>A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満)</p> <ul style="list-style-type: none"> GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 <p>G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0</p> <p>算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）</p> <p>卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 <p>学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）放課後、担任が作品制作や楽器練習などに対してアドバイスを行う。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
81人 (100%)	0人 (0%)	81人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
音響/照明会社・イベント制作会社・レコーディングスタジオ等 株式会社 MSI・株式会社マーキュリー・ラストラムミュージック・Prime sound studio・株式会社ハートス・株式会社 SLI・四季株式会社・ハンダグループ・西日本企画サービス			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・企業インターンシップによるマッチングを頻繁に実施。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>舞台機構調整(音響機構調整作業) 3 級 音響学科コンサートPA 専攻1 年生3 5 名受験(合格1 9 名/一部合格9 名/不合格7 名)</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	6 人	7.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>精神的理由・進路変更など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		映像音響 専門課程	ミュージック クリエイト学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,920 単位時間/ 120 単位	512 単位時間	4256 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4768 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		45人	1人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。シラバスは学校のホームページで公表を行う。
成績評価の基準・方法
（概要）授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。また GPA の評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席 50%以上) E=不可(出席 50%未満) ・GPA 評価制度により客観的に評価を行う。 G ポイント変換： A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出：(教科の GPA 評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 ・卒業規定として学則に定める履修時間（卒業時 1920 時数）を履修しており、単位 94 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。
学修支援等
（概要）放課後、担任が作品制作や楽器練習などに対してアドバイスを行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (0%)	人 (0%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 2019年4月設置により卒業生無し			

<p>(就職指導内容)</p> <p>1 年次よりキャリアガイダンスの授業にて、仕事理解、企業の情報を収集し、業界進出活動を行う。学内業界説明会・学内オーディションによるマッチングを頻繁に実施。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	2 人	9.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>身体的理由・経済的理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>カウンセラーによる心のケア、悩みの相談窓口を設けている。 担任制による日々の学生状況の把握及び保護者との連携</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(その他内訳) ① 施設設備費 ② 教科書教材研修費
写真学科	100,000 円	870,000 円	405,570 円	① 299,000 円 ② 106,570 円
放送・映画学科			312,500 円	① 299,000 円 ② 13,500 円
CG 映像学科			310,500 円	① 299,000 円 ② 11,500 円
アニメーション学科			311,000 円	① 299,000 円 ② 12,000 円
声優学科			370,700 円	① 299,000 円 ② 71,700 円
俳優学科			370,700 円	① 299,000 円 ② 71,700 円
音響学科			528,870 円	① 299,000 円 ② 229,870 円
ミュージッククリエイト 学科			420,720 円	① 299,000 円 ② 121,720 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kva.ac.jp/information.html		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 学校の理念・運営・教育活動・成果・学生支援・教育環境・学生募集・財務・コンプライアンス・社会貢献など主に10個の基準について、7名以上の評価委員と学校関係者で学校関係者評価を行う。委員は、①企業団体関係者、企業経営者またはそれに準ずる者より1名、②公認会計士、税理士またはその他財務の専門家より1名、③学校卒業生より2名以上、④福岡市博多区の住民で責任的立場にある者より1名、⑤その他学校長が必要と認められた者から構成され、学校関係者評価委員会は年1回(8月頃)開催する。業界が求める人材像や必要とされる知識、技術など教育や就職指導に関する意見を交わし、評価を受けた後、評価が低い案件については学校長と学務責任者で確認し、学務会議での協議を通して10月以降学務責任者の指導の下、改善に向け取り組んでいく。 《過去議題例》 教育に関して：業界が求める学び/留学生制度/社会性の向上/ 修学支援の新制度/法人合併後の教育システム変更及びカリキュラム統一 就職に関して：インターンシップの中身/卒業生の活躍状況把握/ 就職率向上から就職の質向上へのポイント(業界EXPO、進路EXPO)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福岡県洋菓子協会	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	業界団体
税理士法人アーク・パートナーズ	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	会計士
株式会社荻田商業建築 デザイン事務所	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	企業等・卒業生
オリエンタルホテル福岡 博多ステーション	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	企業等・卒業生
アミ・シュプール	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	企業等・卒業生
株式会社 映像ボックス	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	企業等・卒業生
福岡市博多区博多駅前 3丁目2区自治会	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	自治会長
博多女子高等学校	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	高等学校
株式会社T00・福岡支店	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	企業等
有限会社フラワーパーク	2019年9月1日～ 2021年8月31日(2年)	企業等
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kva.ac.jp/information.html		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.kva.ac.jp/information.html>